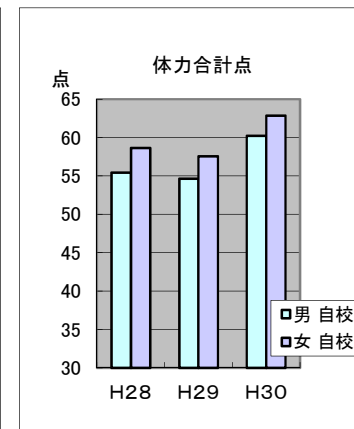
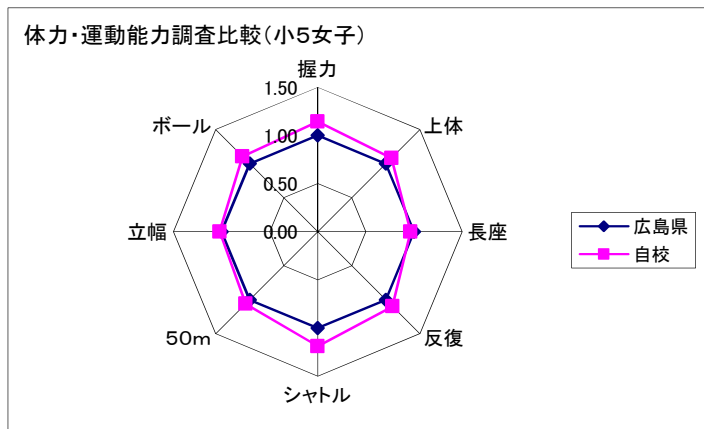
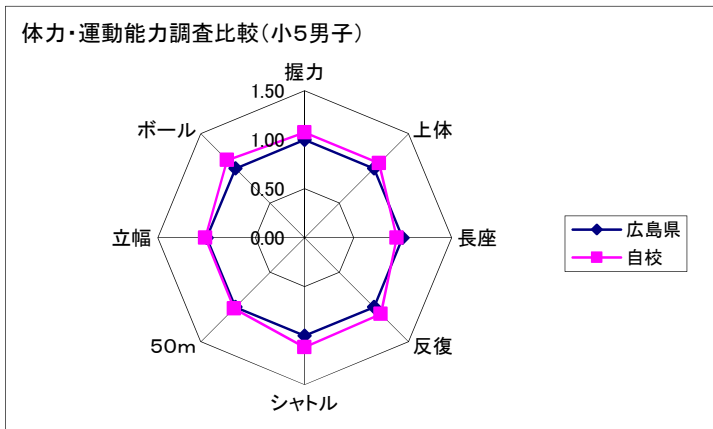


男子の体力合計点 学校60.21点 県平均 56.96点

女子の体力合計点 学校62.38点 県平均 58.54点



H30体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

- ① 50m走(呉市の課題種目)
 - ・ 5年生は男女とも県平均を上まわることができた。これは、体育科での走る運動量の確保や、目標値を具体的に設定し、児童の意欲を高めることができた結果だと考える。
 - ・ 全学的にも県平均を上回る学年が多い。
 - ・ 今後も体育科の授業を含め、短い距離を全力で走る練習やすばやいスタートの練習を継続して行うことや、児童の運動量、意欲を高める取組が必要である。
- ②ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)
 - ・ 5年生は、男女ともに県平均を上回ることができた。これは、場の設定の工夫をすることで、練習量や運動量を増やしたことが要因としてあげられる。
 - ・ 全学的には県平均を上回る学年は少ない。
 - ・ どの学年も練習量や運動量を増やすことができるよう、体育科授業以外での取組を仕組んでいく必要がある。
- ③上体起こし(自校の課題種目)
 - ・ 5年生は、男女ともに県平均を上回ることができた。これは、具体的な目標を数値化することで、児童の意欲を高めたことが要因としてあげられる。
 - ・ 全学的には県平均を上回る学年は少ない。
 - ・ 筋力を鍛える運動を経験させる場や機会を意図的に増やしていくことが必要である。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目(50m走)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩時間に50m走に挑戦できる場と期間を設け、走る意欲を高める。目標とする各学年のタイムを掲示し、具体的な数値として自己の目標タイムを持たせ、複数回挑戦できる場を設定する。 ・ 秋に実施する陸上同好会の練習を5・6年生全員参加とする。 ・ 腕ふりなど、速く走るための練習に取り組む走り強化期間を設定し、家庭・学校で連携し、全員が取り組む回数や指導の機会を増やしていく。
②中学校区の課題種目(ソフトボール投げ)	<p>具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育の授業に投げる力を向上させる運動を取り入れる。 ・ シャドーピッチングなど、投擲運動のための練習に取り組む投力強化期間を設定し、家庭・学校で連携し、全員が取り組む回数や指導の機会を増やしていく。 ・ 目標とする各学年の記録を掲示し、具体的な数値として自己の目標記録を持たせ、複数回挑戦できる場を設定する。
③自校の課題種目(上体起こし)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上体起こしに取り組む場を各学年、教室近くに設定し、日ごろから経験を積ませる。 ・ 上体起こしの練習に取り組む筋力強化期間を設定し、家庭・学校で連携し、全員が取り組む回数や指導の機会を増やしていく。 ・ 各学年の目標とする回数を掲示し、具体的な数値として自己の目標記録を持たせ、複数回挑戦できる場を設定する。

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)